

インターネット知的財産権侵害品 流通防止協議会

Council for Intellectual Property
Protection on Internet

CIPP

<http://www.cipp.jp>

2014年（平成26年）3月7日

第1回 著作権について知っておこう!

ホーム 著作権クイズ

1時間目 「著作権」ってなに?

2時間目 「著作権」を保護しないとどうなるの?

3時間目 Yahoo! JAPANと著作権保護

4時間目 インターネットオークション著作権事件簿

放課後 権利者から皆さんへのメッセージ

第2回 肖像権・パブリシティ権について知っておこう!

ホーム 肖像権・パブリシティ権クイズ

1時間目 「肖像権・パブリシティ権」ってなに?

2時間目 なぜ「肖像権・パブリシティ権」を保護しなくてはいけないの?

3時間目 「肖像権・パブリシティ権」を侵害しないためには

4時間目 Yahoo! JAPANと肖像権・パブリシティ権保護

放課後 権利者から皆さんへのメッセージ

第3回 商標権について知っておこう!

ホーム 商標権クイズ

1時間目 「商標・商標権」ってなに?

2時間目 商標権を保護しないとどうなるの?

3時間目 Yahoo! JAPANと商標権保護

4時間目 ニセモノを売り買わないためには

放課後 権利者から皆さんへのメッセージ

Yahoo! JAPAN 知的財産権保護プログラム

「Yahoo! JAPAN 知的財産権保護プログラム」ってなに?



知的財産権を侵害する出品物について、知的財産権の権利者からの通知に基づき、Yahoo! JAPANが該当する出品物を削除するなどの措置を行うものです。

Yahoo! JAPANは、オークション利用者、権利者とともに、知的財産権の保護に取り組んでいます。

Yahoo! JAPANでは著作権や商標権など他人の権利を侵害する物品の出品を禁止しています。このような物品をYahoo! JAPANが発見した場合、またはYahoo! JAPANをご利用の皆様や権利者から必要十分な内容を伴ったご指摘をいただいた場合には、社内確認のうえ、不適切な出品については削除するなどの措置を可能な限り速やかに行っております。

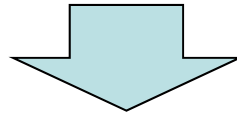
Yahoo! JAPANでは第三者の知的財産権を侵害するような行為をより速やかに防止したいと考えており、「特定電気通信役務提供者の損害賠償責任の制限及び発信者情報の開示に関する法律(平成14年5月27日施行)」(いわゆる「プロバイダ責任制限法」)及び当該法律に関する「著作権関係ガイドライン」※(社団法人テレコムサービス協会提供)などを参考に、より速やかな防止手続きを行うため、「Yahoo! JAPAN 知的財産権保護プログラム」を実施しております。

※関連Webサイト:プロバイダ責任制限法関連Webサイト [[ホームページ](#)]

本プログラムでは、権利者とヤフオクご利用の皆様、およびYahoo! JAPANが協力し、ともに「知的財産権の保護」に取り組み、より快適にヤフオクをご利用いただくことを目的としております。権利者およびご利用の皆様にも、ぜひ本プログラムの趣旨にご賛同いただき、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

設立背景

- 各オークション事業者は、各権利者と個別に協議を行い、個別に対策を推進していた。
- それぞれ協議が必要であった。
- 対策を強化しても、相対的に対策の緩いサイトに流れることが予想された。



- 2005年7月、オークション事業者大手3社にて、知財権侵害品の排除を目的とした自主ガイドラインを策定
- 2005年12月、権利侵害に真剣に取り組もうとする企業が参集し、CIPPを設立。

権利者：UDF、ACCS、キヤノンなど

事業者：ヤフー、DeNA、楽天オークションなど

法的責任の範囲を追及する場ではなく、協調して共通の敵である侵害者に立ち向かうための方策を練る場

削除ガイドライン（隠語の研究等）の制定

毎年度、効果検証分科会を設置し、汚染度を定点観測

必要に応じて、ガイドライン分科会を設置し、削除ガイドラインを見直し

毎年度、知的財産戦略推進事務局に年次報告書を連名で提出

参加団体

■ 権利者・権利者団体

- 一般社団法人 コンピュータソフトウェア著作権協会
- シャネル(株)
- (株)日本国際映画著作権協会
- 一般社団法人 日本動画協会
- 一般社団法人 日本レコード協会
- 本田技研工業(株)
- 一般社団法人 ユニオン・デ・ファブリカン

■ インターネットオークション事業者

- アイ・オークションネット(株)
- WIN (株)
- (株) Stardust Communications
- (株)ディー・エヌ・エー
- 楽天オークション(株)
- ヤフー(株)

■ オブザーバ(関連省庁・その他)

- 内閣官房知的財産戦略推進事務局
- 経済産業省
- 総務省
- 警察庁
- 特許庁
- 文化庁
- 消費者庁

- 一般社団法人 日本音楽著作権協会
- 一般社団法人 日本商品化権協会
- 一般社団法人 日本流通自主管理協会
- イーレディー(株)
- (株)ショップエアライン

日本方式の原則

1. 両者（権利者とオークション事業者）は、互いの立場を十分に尊重した上で、自身の利益のみならず、何よりも消費者の利益を護るために、共通の敵である権利侵害者に対して協同して立ち向かうべきであるとの認識に立つこと。
2. 権利者は、権利とは自動的に保護されるものではなく、自らエンフォースメントを行うべきであるとの認識に立つこと。
3. オークション事業者は、インターネットの健全な発展のために、積極的に知的財産権の保護に努めるべきであるとの認識に立つこと。
4. 両者は、対策の推進にあたり、知的財産権を保護する意義と、利用者の営業の自由や通信の秘密が担保されることの意義を対等に認め、それら両方の価値を毀損しない対応をとるべきであるとの認識に立つこと。

政府による評価

■ オークション事業者による自主的取組

「2005年7月、オークション事業者大手3社により知財権侵害品の排除を目的とした自主ガイドラインが策定された。これに沿って出品者の本人確認や模倣品・海賊版の出品停止措置などの取組が行われており、2005年8月以降、主要オークションサイト上の有名ブランド品の模倣品汚染率が大幅に低下した。」

抜粋：「知的財産推進計画2008」内閣官房 知的財産戦略本部

権利者による評価

Yahoo! JAPANとルイ・ヴィトン マルティエの両社は4日、「Yahoo! オークション」における偽造品撲滅対策で協力するためのガイドラインを「覚書(MOU)」において締結した。あわせて同日、ルイ・ヴィトン 六本木ヒルズ店にて覚書締結式が執り行われた。

今回の覚書はYahoo! JAPANがこれまで実施してきた各種対策を改めて明文化したものとなっており、Yahoo! JAPANおよびルイ・ヴィトン双方が、インターネットが偽造品販売者にとって取引の場として悪用されているという現状に対して、偽造品撲滅で大きな前進を図るには、両社が相互協力するべきであるという認識で一致したためだという。

2009年12月4日



ライブドアニュース/RBB TODAY
<http://news.livedoor.com/article/detail/4487439/>